



心を燃やせ「コロナに負けない学校」

校長 桑原 啓成

2020年大きな社会現象となった「鬼滅の刃」ですが、2021年もその勢いは止まりません。9月、フジテレビ系で、アニメ放送を再編集したダイジェスト版が放送されました。25日には、これまでの日本映画の興行成績を大きく更新した「鬼滅の刃～無限列車編」が放送され、大きな反響を呼びました。この映画で、主人公たちと共に鬼に立ち向かい、強烈なインパクトを与えているのが、煉獄杏寿郎（れんごく きょうじゅろう）です。階級制をとる「鬼殺隊」で屈指の強さを誇り、最高位の「柱」と呼ばれる剣士の一人です。「鬼滅の刃」が子どもたちだけでなく、大人たちからも支持を得ている要因の一つには、鬼殺隊という組織自体を自らが属する組織と重ね合わせやすいことにあるのではないのでしょうか。鬼殺隊の、鬼を倒すというシンプルな目標は、自分たちの生きる世界を守ることに繋がっていて、国民の一人ひとりがそれに向かって真摯に努力を重ねているというコロナ禍にある現代社会と通じるものがあります。映画の冒頭、炭治郎と禰豆子、善逸、伊之助は、鬼が潜む列車の中で、煉獄と合流します。強いインパクトを与える煉獄の特徴の一つが、大きな声、そして常に笑顔でいることです。とにかく明るく、元気がいい。「うまい！」と列車の客室中に響きわたる声で感心しながら弁当を食べ、追い詰められた場面では、「よもやよもやだ！」と余裕を感じさせるたたずまいを見せます。鬼殺隊が目指すのは、人々を脅かす鬼を倒すことです。果たすべき役割を自覚し、それをやり抜く覚悟を決めてこそ、困難な状況でも「どうすれば打開できるか」という前向きな視点が生まれてきます。大切なのは、「できる」と信じ続ける強さなのではないのでしょうか。



さて、コロナ禍にあって、学校は様々な判断を求められています。できない理由を探すことは簡単ですが、できるためには、明確な理由、根拠が必要になり、そして責任が伴います。まずは、校長自らが、「強さと優しさ」「経験と鍛錬から生まれる信念」をもち、物事をフェアな視点で観察し、時には自分の考えを改める柔軟さをもちながら判断しなければなりません。考え方は、人それぞれです。世代が違えば、置かれている環境も異なります。人の数だけ価値観が存在するといっても過言ではありません。しかし、学校には、子どもたちの笑顔と幸せのためにやり抜くという明確な価値基準があります。私は、迷うときに必ず子どもたちの顔を想像します。この判断で、子どもたちは笑顔になれるだろうか、学校が楽しいと思えるだろうかということです。煉獄と炭治郎たちが本格的に「仕事」を共にするのは、映画で描かれる無限列車でのエピソードが初めてです。煉獄が、短時間で後輩との信頼関係を築くことができる理由は、その剣の実力だけではありません。一人ひとりの可能性を信じる煉獄の言葉にその理由を見ることができます。

『心を燃やせ』という印象的なフレーズがあります。これを、今の学校という立場で言い換えると、『子どもたちの笑顔と幸せのために頑張れ！コロナに負けるな！！』ということだと自分に言い聞かせ、コロナだからできないでは無く、可能性を最大限引き出し、コロナでもできるという決断をしています。

これからも扇山小は、制約や困難を伴う状況で「できるために必要なこと」を思案しながら実行し、互いを尊重し合い成長することができる学校であることを信じ、地道に実践を積んでいきたいと思えます。引き続き、保護者・地域のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

大運動会

絆 ~笑顔いっぱい 力いっぱい かけめけろ!~

6月に予定していた運動会が新型コロナウイルス感染症の影響で9月に延期され、今年も午前日程で実施しました。今年度、全校的に行う大きな行事は、この運動会が初めてです。

あいにくの天気で1日延期しましたが、当日は快晴で、子どもたち一人一人の表情からは、みんな運動会ができるうれしさや意気込みが感じられました。最後の「紅白選手リレー」は、選手も応援も、秋空の奥深くまで届くような、みんなの気持ちが一つになった瞬間でした。

保護者の皆様には、感染症対策にご協力いただき、ありがとうございました。



<<SB~Pretender~>>



<<4年生 80メートル徒競走>>



<<6年生 80m徒競走>>



<<3年生 スーパー・オウギヤマ・メーカー>>



<<1年生 おおかみさん、いまんじ?>>



<<2年生 グラウンドの果てまで行ってQ>>



<<5年生 世界へ cha cha cha>>



<<1・2・3年生 紅白選手リレー>>



<<4・5・6年生 紅白選手リレー>>



ふらの演劇祭に向けて

28日(火)に富良野GROUPの久保隆徳さんが演劇の指導に来られました。当日は子どもの簡単な演技を見た後、より質の高い劇を目指してプロの視点から指導が行われました。子どもたちは、演技を褒めてもらい、大変満足な時間を過ごすことができたようです。

今後の指導で、昨年よりパワーアップした4年生の姿を「ふらの演劇祭」で見せられるように、これから頑張ってもらいたいと思っています。

10月行事予定

- 1日(金) 全校集会(月)、クラブ⑤
通知表配付日(6年)
- 4日(月) 避難訓練(中休み)
- 5日(火) 午前授業、給食あり
- 7日(木) 結団式(6年)、演劇指導(4年)
諸費再引落日、避難訓練予備日
- 8日(金) 修学旅行①(6年)、職業体験(2年)
通知表配付日(1~5年)
- 9日(土) 修学旅行②(6年)
- 11日(月) 全校集会(歌)
- 12日(火) 午前授業、給食あり



- 13日(水) 結団式(5年)
- 14日(木) 宿泊研修①(5年)、演劇指導(4年)
社会見学(3年)
- 15日(金) 宿泊研修②(5年)
- 18日(月) 児童教育相談(29日まで)
- 19日(火) 身体測定(3・4年)
- 20日(水) 身体測定(2・5年)
- 21日(木) 身体測定(1・6年)、演劇工場リハ
- 22日(金) なまこ山散策(1年)
- 27日(水) 諸費引落日、方面別下校訓練
- 28日(木) 方面別下校訓練、社会見学(3年)
コミュニケーション事業(4年)
- 29日(金) 演劇工場リハースル(4年)

※感染症の影響で各行事等は、中止・延期になる場合があります。